

平成14年度
市民一人当たりの行政コスト

26万3千円（前年度25万4千円）

行政コストとは、人的サービス、給付サービスなど資産形成につながらない資源を消費する行政サービスにかかる費用のことです。また、通常の決算は、支出だけをまとめていますが、行政コスト計算書は、建物などの施設の消耗を表す減価償却費（約30億7千万円）もコストとして計上しています。

行政サービスにかかるコストは？（普通会計）

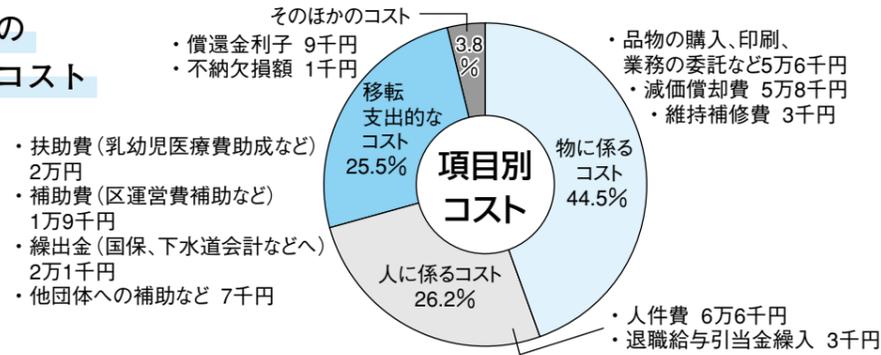
普通会計の行政コスト計算書（損益計算書）

平成15年3月31日現在

| 項目 | | 平成13年度 | 平成14年度 | 増減 | 14年度の市民一人当たり |
|----------------|-----------|-------------|-------------|------------|--------------|
| 費用 | 人に係るコスト | 36億1,248万円 | 36億8,954万円 | 7,706万円 | 6万9千円 |
| | 物に係るコスト | 60億8,080万円 | 62億4,023万円 | 1億5,943万円 | 11万7千円 |
| | 移転支的的なコスト | 32億6,409万円 | 35億9,358万円 | 3億2,949万円 | 6万7千円 |
| | その他のコスト | 5億8,557万円 | 5億2,984万円 | △5,573万円 | 1万円 |
| 合計 A | | 135億4,294万円 | 140億5,319万円 | 5億1,025万円 | 26万3千円 |
| 収入 | 充当財源 | 23億4,234万円 | 23億2,096万円 | △2,138万円 | △はマイナス |
| | 一般財源 | 129億1,853万円 | 130億8,850万円 | 1億6,997万円 | |
| | 国県支出金償却額 | 4億7,293万円 | 4億5,729万円 | △1,564万円 | |
| | 合計 B | 157億3,380万円 | 158億6,675万円 | 1億3,295万円 | |
| 差引一般財源増加額（B-A） | | 21億9,086万円 | 18億1,356万円 | △3億7,730万円 | |

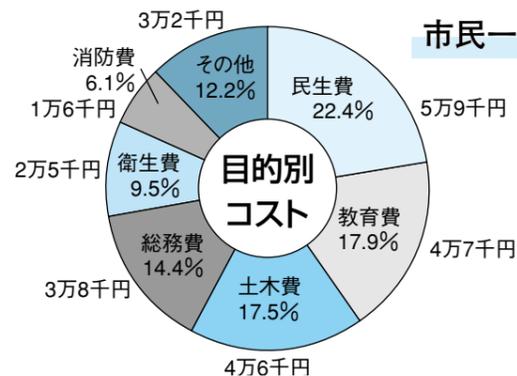
※この行政コスト計算書は、国（総務省）が示した作成基準に沿って作成しました。

市民一人当たりの
項目別コスト



市民一人当たりの
目的別コスト

通常の決算では、土木費が一番多いですが、行政コストは建設事業などを含まないため、行政コストでは、福祉関係の民生費がトップとなっています。



バランスシートとは、一般に民間企業の会計で用いられているもので、土地・建物など現在まで整備された資産と借金などの負債の状況をまとめたものです。

平成14年度 市民一人当たりの資産

195万2千円（前年度188万9千円）

平成14年度 市民一人当たりの負債

54万円（前年度51万8千円）

市全体のバランスシート（貸借対照表）

平成15年3月31日現在

| 項目 | | 普通会計 | 公営事業会計 | 計 | 市民一人当たり |
|-----------|--------|-------------|-------------|---------------|---------|
| 借方 | 有形固定資産 | 738億5,674万円 | 157億4,785万円 | 896億459万円 | 167万9千円 |
| | 投資など | 60億2,625万円 | 18億6,897万円 | 78億9,522万円 | 14万8千円 |
| | 流動資産 | 52億4,966万円 | 14億1,119万円 | 66億6,085万円 | 12万5千円 |
| 資産合計 | | 851億3,265万円 | 190億2,801万円 | 1,041億6,066万円 | 195万2千円 |
| 貸方 | 固定負債 | 189億5,449万円 | 84億5,630万円 | 274億1,079万円 | 51万4千円 |
| | 流動負債 | 11億3,890万円 | 2億7,256万円 | 14億1,146万円 | 2万6千円 |
| | 負債合計 | 200億9,339万円 | 87億2,886万円 | 288億2,225万円 | 54万円 |
| 正味資産 | | 650億3,926万円 | 102億9,915万円 | 753億3,841万円 | 141万2千円 |
| 負債・正味資産合計 | | 851億3,265万円 | 190億2,801万円 | 1,041億6,066万円 | 195万2千円 |

※このバランスシートは、国（総務省）が示した作成基準に沿って作成しました。

※普通会計は、一般会計と土地取得特別会計で構成され、市の基本的な行政運営を行う会計です。

※公営事業会計は、水道事業会計と下水道事業、国民健康保険、老人保健、介護保険、十里木高原簡易水道の特別会計です。

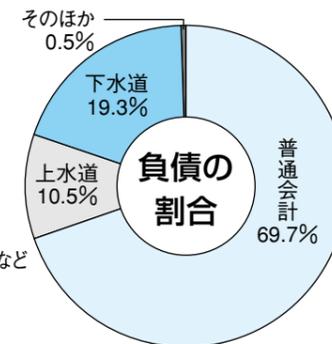
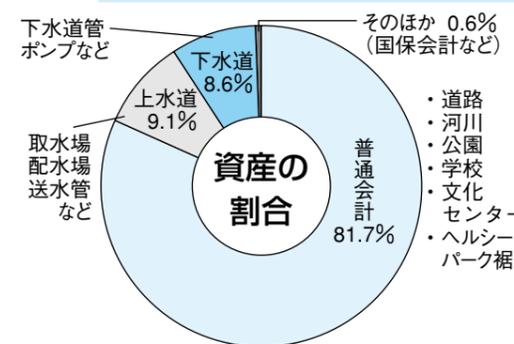
資産とは？

バランスシートの項目にあるような施設の土地・建物や基金、現金などです。市民の皆さんにこれから提供する行政サービスの基になるものです。

負債とは？

資産にあるような施設の整備のために借りた借入金の返済金や市職員の退職給与引当金（現在の市職員が普通退職したと想定した場合の必要な退職手当）です。今後返済が必要で市民の皆さんが負担するものです。

会計別の資産と負債の割合



資産・負債ともに、行政サービスの多くを行っている普通会計が一番多くなっています。下水道事業は、資産では、上水道事業と同程度の割合でしたが、負債は上水道の約2倍になっています。これは、下水道事業は、主に借入金を活用して行われているからです。

市の資産と負債は？（市全体の会計）

問合せ
財政室 九九五—一八〇—